

おうちの図工室・美術室

この世界のマークはこうだ！

対象学年 中学校 2年生～3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

いま、あなたが生きている世界はどんな世界ですか。
この世界を一目でわかるマークをつくるとしたらどんなマークでしょうか。
この世界が〇〇になってほしいという願い、この世界はきっとこうだろうというイメージ、どのような意味を含めても構いません。
あなたが住んでいるこの世界のマークを考えてください。

- マークの形、大きさ、色数の制限はありません。もちろんいくつ考えても構いません。
- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで書いてもいいですね。
- マークからあなたの思いが伝わるようにかいてください。また、文章でその思いも添えてください。
- マークの試作、練習もすべて提出してあなたの思考した後を見せてください。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

この世界のマークを考えることで、理想を目指す生徒、客観的に分析しようとする生徒、達観したように見ようとする生徒、さまざまな生き方を互いに知ることであります。

社会への広まり

自分の身のまわりだけでなく、自分自身はまだ知らない世界も自分とつながった社会としてとらえようとする姿勢を期待しています。

三観点

知識・技能

マークというキーワードで、自分の思いや知識を整理して視覚的にまとめようとする。

思考・判断・表現

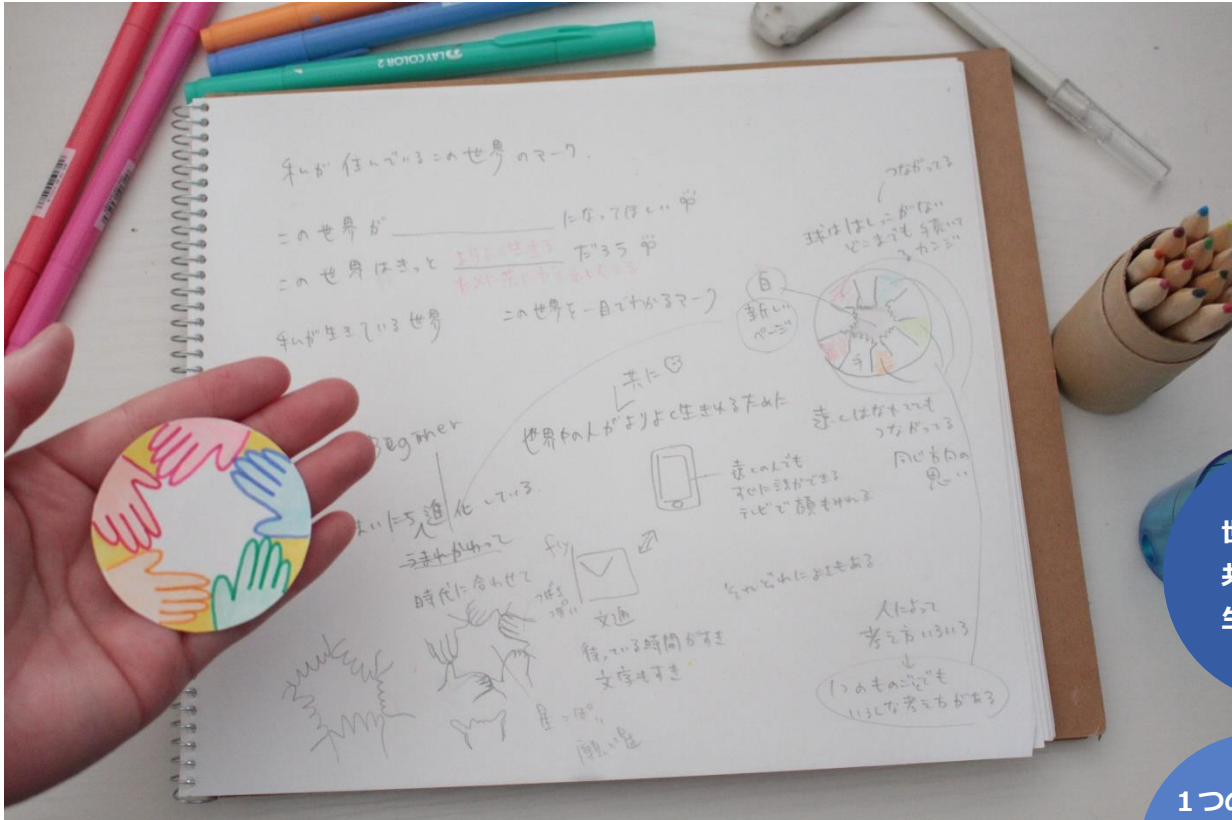
自分の所属する社会の有りようを思考し、自分の社会への姿勢を客観的に捉えなおすことができる。

主体的に学習に取り組む態度

マークにすることで、自分の考えをわかりやすく他者に伝えようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



世界中の人が
共によりよく
生きるために

1つの物事でも
人によって
いろんな考え方
がある

「よりよい未来のために共に力を出し合える」

使用した材料・道具

鉛筆、消しゴム、色鉛筆、スケッチブック
画用紙、絵の具、ペン、筆、筆洗、パレット、はさみ

毎日
時代に合わせて
進化している

この世界はきっと「よりよく生きるために共に力を出し合える」だろう、と考えました。遠く離れた人とのコミュニケーションにおいて、手紙のやり取りから、スマートフォンでのやり取りへと進化し、文章のやり取りはしやすくなり、画面越しではあるが、顔を見て話すことも可能になった。手紙にもスマートフォンにもそれぞれのよさがあり、人によって考え方はそれぞれである。時代に合わせて日々進化しているが、その大きな目的の1つは、世界中の人が共によりよく生きるためだと考える。いろんな考えをもっている人がいるからこそ、様々な方法が試され、新しいものが生まれる。なので、きっと、よりよい未来のために共に力を出し合えるだろう、という思いをマークに込めました。

おうちの日工室・美術室